



兵庫支部NEWS H30年12月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

兵庫支部ブログ <http://blog.goo.ne.jp/ninom45> メール:7347oabk@jcom.zaq.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00970-5-236766

口座名:兵庫支部NEWS

総勢23人で平成最後の兵庫支部忘年会を和やかに!!

前列左から

二宮慶治郎(S38米英)
安藤陽子(会友)
川寄 豊(S55経営)
大江一正(S46国文)
名越英昭(S37米英)
高尾 巍(S36商)
永翁正臣(S41商)
田副忠亮(S45中国)
西村勝弘(S41中国)
浜田勝義(S44米英)



後列右から

牛丸敬孝(S51中国)
津崎久雄(S45経済)
平間正昭(S37商)
竹下 勇(S41米英)
大村実良(S33商)
井上信之(S25米英)
真島秀幸(S48経営)
安徳信義(S44商)
謝 美華(会友)
高山行雄(S45米英)
松山 仁(S44商)
福永憲彦(S44経営)

平成最後の兵庫支部忘年会が平成30年12月1日(土)午後6時から昨年と同じ会場、神戸おうみや本店2階で総勢23人が集り開催された。

担当幹事の高山行雄が進行役となって、先ず、最近知られた3人の訃報、2代目兵庫支部長堀江淳之氏(S32米英)幹事・監査を務めた河野旺生氏(S36商)上海で活躍していた坂口俊一郎氏(S43米英)のご冥福を祈り、名越支部長が、平成最後の忘年会を楽しんでください、と挨拶。昨夏の支部総会以来お元気でご出席された井上信之大先輩のご発声で乾杯して、宴会が始まった。

昨年は同じ場所で出席者16人とやや寂しい感もあったが、今年は、25人の参加申込みがあり、急用で欠席があったとは言え、大幅増の参加者で賑わいも一段と盛り上がり、今年初めまで兵庫支(久々出席ポーズをとる川寄氏)部会員だった川寄豊氏も関西支部幹事として出席していただいた。

関西支部からは大江一正幹事長もご出席され、挨拶の中で、来年の新年会を1月13日(日)に開催することを案内された。

大江氏は吟詠部OBであり、大江蓮風と名乗り、新大阪岳風会「奥伝」に昇格されている。この機会に兵庫支部の皆様に、その美声の披露を依頼したところ快く引き受け一曲うなってもらった。(右)

今夏の兵庫支部総会に初参加された竹下勇空手部OB(S41米英)も参加され、これからも引き続き参加が期待される。今回の忘年会の案内状は過去3年間の支部総会や忘年会、支部運営協賛者や支部行事参加者100人に対して発送され、返信が65人。支部総会の場合の返信率は、

17%と極端に低い。この辺りが来年の宿題だろう。

そんなことを思いつつふぐ鍋をつつき、飲んでいるうちに開きの時間、いやスペースが残り少なくなってきた。

終了後はそれぞれの二次会へ向う。筆者は井上大先輩の待つスナックへ。(名越記)

(歌手峯ゆかりさんとデュエットの井上先輩)



兵庫支部親睦会「三金会」会場ご案内



BarS'alu(バルサル)元町

神戸市中央区北長狭通3-31-91
JR元町駅東口北出口から東へ徒歩1分

Tel.078-391-4136(ヨイサル)

「開催日時」

毎月第三金曜日
午後6時~8時予定

会費

約3000円(男女とも)
(実費割り勘)



「団碁の会」定例会

毎月第3金曜日午後2時~午後5時半

会場:阪急団碁クラブ(写真右)

JR高架下飲食街2F、
阪急神戸三宮駅西口寄り

Tel.078-331-1303

会費:クラブ料金制度に基づく

入場料:700円

対局料:1局50円(敗者負担)



初心者歓迎! 気楽にお出で下さい!

関西支部新年会御案内

関西支部では恒例の新年会を下記の通り開催する。平成最後の新年会で、ビンゴゲームやイベント趣向を凝らして同窓生の参加を呼びかけている。

記

平成31年関西支部新年会

開催日時：平成31年1月13日(日)正午から

開催場所：新大阪ワシントンホテルプラザ

会 費：男性 7,000円、女性 5,000円

連絡先：大江一正幹事長(S46国文)

携帯 090-8121-5629

mail: kazu.ooe46gin2@gmail.com

または関西支部ホームページの申込フォーム利用

URL : <http://www.kitakyu-dousoukai.com/>

北九州市立大学同窓会

2019年 行事予定

卒業式・祝賀会 2019年3月23日(土)

入 学 式 2019年4月4日(木)

第1回 評議会 2019年6月1日(土)

北方キャンパス(予定)

会報120号発刊 2019年7月15日予定

第2回 評議会 2019年10月26日(土)

北方キャンパス(予定)

第69回総会・懇親会 2019年10月27日(日)

リーガロイヤルホテル小倉

会報121号発刊 2019年12月15日予定

おむすび大好き♡ I Love を結び

三村晴美(S60経営)

黒豆ご飯の桜エビおむすび

第62回は「黒豆ご飯の桜エビおむすび」です。

アントシアニンたっぷりの黒豆ご飯に桜エビを加えたアンチエイジング効果の高い簡単美味しいおむすびです。

<材料>

米 3合

黒豆 100g

☆調味料

醤油 25cc

梅昆布茶

小さじ2

塩 小さじ1/2

みりん 大さじ1/2

乾燥桜エビ お好みで適量

<作り方>

1. 黒豆をよく洗い、一晩水につけておく。
(水を吸っても豆が空気にさらされないくらい多目の水につける。)
2. 米を研ぎ、1の水を炊飯器の目盛りまで入れる。
3. ☆の調味料を入れ、軽くかき混ぜる。
4. 黒豆を入れて、炊飯器のスイッチを入れる。
5. 炊き上がったらしばらく蒸して、よく混ぜます。
6. 乾燥桜エビを適量、フライパンで乾煎りする。
7. 5の黒豆ご飯からおむすび分をボールにうつし、6の桜エビを加え混ぜ合わせる。
8. おむすびにして、お皿に乗せて出来上がりです。



兵庫支部月例会

「囲碁の会」11月例会@阪急囲碁クラブ

11月16日(金)午後1時頃から始まり、終了後は三金会会場へと向った。参加者は：平間正昭3段、名越英昭2級、安徳信義4級、奥本進4級、今市均4級。

「三金会」11月例会@バルザル元町店

11月16日(金)午後6時頃スタート、久しぶりに三宅隆志(S59中国)の参加があり、8人の参加者だった。



左端から時計回り、二宮慶治郎(S38米英) 大村実良(S33商) 平間正昭(S37商) 今市均(会友) 三宅隆志、名越英昭(S37米英) 奥本進(S39商) 安徳信義(S44商)

角界の暴力連鎖内止め
憧れの黄金の国黒かつた
ガラケーもポケベルの運命辿るのか

北九の神戸同窓認知さる
川柳

老いてスコアはお歳を超ぬ本庶教授の立志伝
オーマイグッズドネス王様逮捕ほぞを囁みかみ留置さ
帶も増えたしお金も貯めたほそる貴方と離婚しよ

読み込み都々逸と川柳

「おおほり」読み込み都々逸

思案亭

世界かんがい施設遺産登録

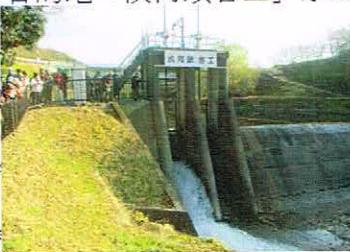
淡山疎水を訪ねて

淡山疎水は水不足に悩むいなみ野台地に水を供給するための農業用水路で、明治24年に完成した淡河川疎水、神戸市北区淡河(カワコ)頭首工～神戸市西区練部屋分水所26.30km、及び大正8年に完成した山田川疎水、北区山田町取り入れ堰～三木市志染町広野官ヶ谷調整池10.75km、の2つの疎水の総称である。

国際かんがい排水委員会ICID(International Commission on Irrigation and Drainage)が2014年に創設した「世界かんがい施設遺産」登録制度に淡山疎水は2014年に登録されている。2017年までに日本の31ヶ所を含め、世界で60ヶ所が登録されている。

県広報紙で知り応募したが補欠9番で諦めていたが直前に繰り上げ当選が知らされ、「こうべ水の恵みウォーキング＆ツアーニー2018」に参加した。兵庫県公館北側道路からバスで出発、最初の目的地「淡河頭首工」水の取り入れ口に到着した。

淡河川の水を取り入れてここを起点とする水路の勾配は5000分の1(50mで1cm低くなる)と極めて緩やかに設計されている。



ここから道の駅淡河まで

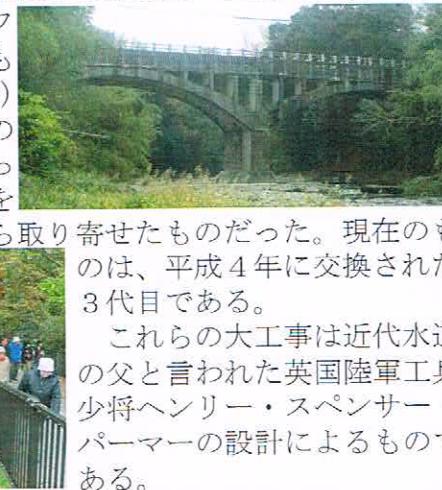
淡河周辺の水路の見学ウォーク。途中厄八幡社に参拝して旅の無事を祈願し、水路沿いの道を歩く。(左) やがて道の駅から北上する国道428号線に架かる橋があり、横断幕「東播用水淡河幹線水路」が掲げられていた。(右) 水路を通す橋である。この橋の下から南下して道の駅近くの淡河本陣跡を訪ね、再びバスに乗車し、三木市志染町御坂へと向う。

本日の最大の見物とも言うべき「御坂サイフォン」がある。幅700mを越す志染川の渓谷を日本初の鉄管による噴水工(サイフォン)で、左右の高低差により水を送り込むのだ。(左の模型参考)

右側入口標高132.34m、左側出口標高129.89m、高低差2.45m、底部の志染川を渡す橋は全長56.95mのサイフォン橋は眼鏡橋とも呼ばれている。(右)

ここから反対側の山へと水路は上がって行く。(下) 水を通して鉄管は英國から取り寄せたものだった。現在のものは、平成4年に交換された3代目である。

これらの大工事は近代水道の父と言われた英國陸軍工兵少将ヘンリー・スペンサー・ペーマーの設計によるものである。



初日の出・初詣御案内

大蔵海岸で明石海峡大橋上空の初日の出

平成最後となる初日の出を明石、大蔵海岸で祝いましょう。

集合時間：平成31年元旦午前7時

集合場所：JR朝霧駅南

「MALT'SマーメイドII号」前
(日の出時刻午前7時6分)

初詣：稻爪神社、(大蔵海岸から約1.5km)

柿本神社、(稻爪神社から約1km)

解散場所：JR明石駅(柿本神社から約1km)

連絡先：090-5010-4954二宮

第208回「歩こう会」1月例会御案内

三社参り 生田神社・湊川神社・長田神社

神戸市内の初詣客ベスト3生田神社(約155万人)湊川神社(90万人)長田神社(約70万人)の三社参りをします。JR三ノ宮駅から生田神社(約0.4km)そして湊川神社(約2.2km)更に長田神社(約3.4km)へ合計約6.0kmです。昼食は途中で適当な場所を見つけましょう。

集合時間：平成31年1月13日(日)午前10時

集合場所：JR三ノ宮駅中央改札口北側(山側)

連絡先：090-5010-4954二宮

鉄管沿いに上り切ると目の前は三木市総合防災公園の野球場だった。そこから駐車場からバスに乗り昼食地の兵庫楽農生活センターへ向った。このレストランかんでかんでには時々来ているが、今日は持参のサンドイッチで昼食。バス車内で案内された近くにあるといつも通る道路脇の側溝が「東播用水合流幹線水路」だった。(右)その水路に沿って老ノ口方面へとしばらく歩くと目的の「老ノ口分水工」があった。(左)傍らの案内図によるとここで岩岡支線に分水されるのだ。

最後にバスで稻美町の「淡山疎水東播用水博物館」を訪問。ここで前述の「御坂サイフォン」の模型による実験や初代・2代目の鉄管などの展示を見学。

今日一日先人の偉業に触れ、現在も尚疎水の管理に努力されている方々に感謝の心を抱き帰路についた。

剣道・柔道・空手

北辰武道具店

奥本正広(代表)

奥本 進(昭和39年商学部卒)

〒666-0015川西市小花2丁目21-9

TEL(072)759-7990

第206回「歩こう会」11月例会

湊川隧道通り抜け

高山行雄(S45米英)

11月11日(日)9時半、快晴、神鉄湊川駅地上出口に集合。参加者(敬称略)は名越英昭(S37米英),二宮慶治郎(S38米英),永翁正臣(S41商),安徳信義(S44商),松山仁(S44商),高山行雄(S45米英),今市均(会友),新恭一(二宮さん高校の後輩)と奥さん趙翎孜さんの9人である。

この日の「一般公開」に加わる人達の流れに従って、湊川隧道入口に向かった。駅出口付近に自転車でやつてきたボランティアの女性がくれた詳細地図でも道順を確認できた。

屋根付きで丸く大きく開いた隧道入口前のテント張りの受付でパンフレットを受領し、かなり傾斜した取り付けトンネルから入場した。壁の両面にパネル掲示で隧道の由来や催



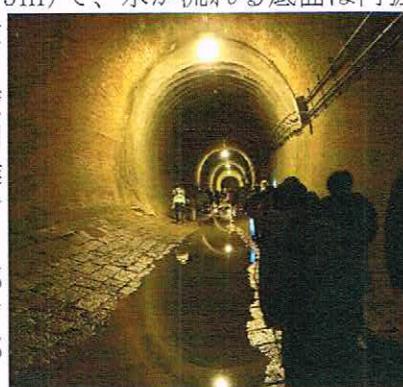
し物の案内がされていた。

この河川トンネルの生い立ちを振り返ってみる。標高85mの会下山をくり抜いて、明治34年(1901年)8月に竣工。六甲山系から真っすぐに海に注ぐ湊川を西に大きく迂回させて茹藻川に繋ぐためのトンネルである。湊川はその両岸に民家より高い位置を流れる天井川だったので、度重なる氾濫と天井川による東西交通の障害、更に流出土砂による神戸港埋没の問題をこの隧道の大工事によって取り除くことができた。その河川堤防を削ってできたのが、「新開地」である。「東の浅草、西の新開地」と称されて、映画館や芝居小屋のある繁華街となり、ここで子供の頃から映画館に通い続けて映画評論家になったのが、淀川長治さんである。

平成7年(1995年)1月17日に阪神淡路大震災によって隧道の様々な箇所が破損した為、災害復旧助成事業で新湊川トンネルが北側に新たに建設された。その後、湊川隧道の歴史的、技術的評価等の検討がなされ神戸の文化を継承する近代土木遺産として保存されることになった。

その長さは、増築部を含めると670m、断面は馬蹄型(高さ7.6m、幅7.3m)で、水が流れる底面は円弧状に花崗岩の切石が敷き詰めてある。

隧道の内壁は煉瓦積みで、水量の多い時期に天井付近まで水が達したのであろう、トンネル全面が褐色になっていた。底面の円弧部には湧き水が溜まっており、その横の傾斜部を移動した。



明治時代の大土木事業について語り合いながら、現在の新湊川トンネル下流抗門近くに設けられた出口に到着した。ここからは、垂直に切り立った新湊川の端に作られた歩道部分を歩き、長田橋の手前の階段を上って地上に出た。

この催しを実行した「湊川隧道保存友の会」のアンケートに回答して昔懐かしい神戸名物の瓦煎餅をいただいた。

昼食には少々早いこともあり、長田神社に参ったことがないという永翁さんと小生の希望が叶い参道を進んだ。鳥居をくぐり、駐車場の整理をしていた20代の神職に尋ねると、西暦201年に創設されたと言う。改めて調べてみると、神宮皇后摂政元年(201年)2月神宮皇后が三韓征服後、新羅から難波に帰還する途中船が進まなくなり、占ったところ、「吾を長田国に祀れ」と神託を受け長田神社が創祀されたそうである。

本殿前では七五三のお祝いにやってきた一家が満面の笑みを浮かべて記念撮影を繰り返していた。我々も巫女さんに頼んでシャッターを押してもらった。老人グループが七五三というのは変だと言ひながら、表示板をよく見ると、「参拝記念」となっており納得できた。

この付近にはふさわしい飲み屋が見当たらない。そこで大通りを東に歩き続けて地下鉄湊川公園駅付近に戻った。新開地商店街のアーケードを南に下り、飲み屋探し得意な安徳さんが先発して見つけた店の2階で、生ビールの乾杯となった。小宴会を終えアーケード街を地下鉄駅に戻る途中、今年7月11日にオープンした常設寄席の「喜楽館」の入口前で前座らしき落語家さんが嬉しそうに寄せ太鼓を打ち鳴らしていた。

お知らせ

編集室のメールアドレスが変わりました

新 7347oabk@jcom.zaq.ne.jp

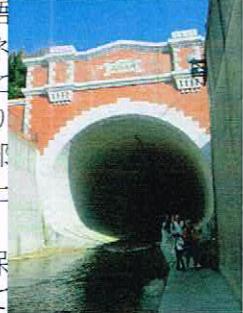
↑

旧 hn75kb@ybb.ne.jp

メールアド変更登録よろしくお願ひします
またどしどしご寄稿お待ちしています

兵庫支部NEWS編集室

名越英昭



平成30年11月11日 11:22

